

公開シンポジウム

「野生動物と共に生きる未来 持続可能な野生動物管理システムの構築をめざして」の開催について(案)

1. 主催：日本学術会議課題別委員会「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」
2. 共催：兵庫県、兵庫県立大学
3. 後援：環境省、農林水産省、文部科学省
4. 日時：年月日 2019年2月9日(土) 13:30-16:30(12:00 受付開始)
5. 場所：兵庫県公館(〒650-8567 神戸市中央区下山手通4丁目4番1号)
6. 分科会の開催：開催予定(9:30~11:30)
7. 開催趣旨：日本では世界に先駆けて人口減少・高齢化が進んでいる。大都市圏への人口集中も相まって地方の人口縮小が急速に進む一方、ニホンジカやイノシシなど野生動物の個体群増加と分布拡大によって人間活動との軋轢が生じている。農林水産業、生態系、生活環境などへの被害を防ぎながら、野生動物を地域資源として持続可能な方法で利用しつつ共存していくことは、社会的な重要課題の一つとなっている。そのためには、科学的な野生動物管理システムの構築が欠かせない。日本学術会議では、環境省自然環境局の審議要請を受けて、課題別委員会「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」を設置し、野生動物管理をめぐる問題を多様な学術の視点から分析し、野生動物の科学的な管理システムのあり方について具体的な検討を行ってきた。シンポジウムでは、これまでの審議で明らかになった課題およびそれにもとづく提案の骨子を紹介すると共に、この問題に関心を寄せる多様な主体の間での活発な意見交換を通じて情報共有をめざす。

8. 次第：

開会挨拶 15分

主催者挨拶 山極壽一 日本学術会議会長
井戸敏三 兵庫県知事

来賓挨拶 環境省自然環境局長

趣旨説明 20分

日本学術会議課題別委員会「人口縮小社会における野生動物管理のあり方の検討に関する委員会」の審議と提案の骨子 課題別委員会委員長 鷲谷いづみ

講演

- 1) 野生動物管理学からみた現状と課題：日本型管理システムの構築に向けて(25分)
梶光一 (課題別委員会副委員長・兵庫県森林動物センター 所長 特任連携会員)
- 2) 兵庫県における野生動物管理システム(25分) 横山真弓(兵庫県立大学・兵庫県森林動物センター 教授 特任連携会員)
- 3) 市町村レベルでの野生動物管理の実践(25分) 山端直人(兵庫県立大学・兵庫県森林動物センター 教授)

(休憩 15分)

リレートーク&討論 「科学的野生動物管理へ：学術からの展望」(60分)

一部・二部・三部の委員1～2名ずつ5～6名程度：からそれぞれの研究分野からの展望・提言など(できれば、前の演者の話につなげて)

コーディネータ：湯本貴和(京都大学霊長類研究所教授 特任連携会員)

コメンテーター：林 良博 (国立科学博物館館長/森林動物研究センター研究統括監)

閉会挨拶 (5分)

課題別委員会委員長 鷲谷いづみ